

ど〜だったの？

## 第23回 歯科衛生士国家試験！

(落合真理子)



第22回歯科衛生士国家試験の合格率は96.2%だったので、今年は0.9%上昇しました。

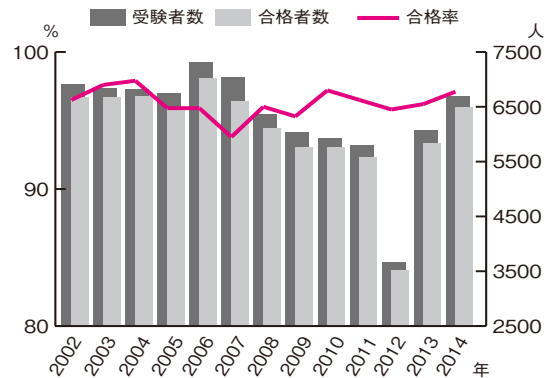
現在の傾向を表している問題を一部抜粋してみました。

皆さんの受験時とは違っているでしょうか？

第23回受験者数・合格者数および合格率

受験者数	合格者数	合格率
6,685名	6,492名	97.1%

基準 219点満点 132点以上で合格



受験者数と合格者数および合格率 (厚生労働省より)

午前問題より

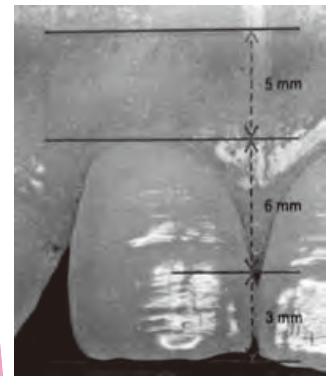
※解答は次ページにあります

①

問題 上顎右側中切歯の口腔内写真を別に示す。

歯周組織検査の結果、プロービングデプス、アタッチメントレベルともに2mmであった。口腔内写真に参考となる測定値を示す。臨床的付着歯肉幅はどれか。

- a 2mm
- b 3mm
- c 4mm
- d 5mm



## DHmarico's POINT

私が受験した16年前にはこのようなカラー写真の問題はなかったのでビックリ！  
添付の写真にはプロービングデプスが記載されていないのがポイント。  
切端から歯間乳頭までと、歯間乳頭から辺縁歯肉までの距離があることで、「付着歯肉って、どこのことだけ？」と迷いやすくしているのかも。

②

問題 オフィスブリーチ法の術式と使用するものとの組み合わせで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 術前の歯面清掃 —— フッ化物配合ペースト
- b 歯肉の保護 —— プロテクトレジン
- c 漂白剤の混和 —— 55%過酸化水素水
- d 漂白剤の活性化 —— 光照射器

## DHmarico's POINT

ブリーチのことが国試に出題されるとは！  
術式と、その意味を理解していなければ間違える問題かも。

③

問題 NST 構成メンバーの中で、摂食機能療法の間接訓練を担当する職種はどれか。2つ選べ。

- a 薬剤師
- b 管理栄養士
- c 言語聴覚士
- d 歯科衛生士

### DHmarico's POINT

一般開業医での勤務が中心の私には恥ずかしながら「NST って何？」という問題……（涙）  
 歯科衛生士の活躍の場が拡大していることを反映する問題ですね。  
 NST：(Nutrition Support Team) 基本的医療である栄養管理を、症例個々や各疾患治療に応じて適切に実施するための他職種で構成されるチームのこと。

④

問題 30歳の男性。水平位でスケーリング中に歯肉からの出血が認められ、気分が悪いと訴えた。意識はあるが顔色は蒼白、血圧は70/40mmHg、呼吸数に異常は認められない。スケーリングを中断することとした。対応法で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 圧迫止血
- b 胸骨圧迫
- c 下肢の拳上
- d AEDの装着

### DHmarico's POINT

「AEDの装着」が選択肢にあることに、時代の流れを感じます。  
 患者さんの年齢に関わらず、スケーリング実施前に全身疾患有無の把握や、当日の体調に変化がなかったかなどは把握しておくことでこのような事象を未然に防ぎたいものです。

⑤

次の文を読み 問題 a 問題 b を答えよ。体重20kgの6歳男児。週一回法によるフッ化物洗口時に、洗口液5mlを誤飲した。心配して母親が電話をかけてきた。

問題 a 誤飲したフッ素量はどれか。

- a 1.1mg
- b 4.5mg
- c 11.0mg
- d 45.0mg

問題 b 歯科衛生士として適切な対応はどれか。

- a すぐに内科の受診を勧める。
- b カルシウム製剤の服用を指示する。
- c 多量の水を飲ませるよう指示する。
- d 急性中毒の心配がないことを説明する。

### DHmarico's POINT

恒例のフッ化物問題。2段階でしたか！  
 単に中毒量を計算させるのではなく、より臨床的な問題ですね。  
 週一回法の濃度と、体重1kgあたりの中毒量を知っていなければ解けません。  
 週一回法の濃度 900ppm  
 1kgあたりの中毒量 2mg

〈国家試験問題解答 ①：b ②：b, d ③：c, d ④：a, c ⑤a：b ⑤b：d〉



場所 近畿大学  
 時間 だいたい9:00～16:00  
 感想 国家試験当日会場では同じ学校の子がひとつ飛ばしの席にいるので緊張せず、本当に今日が国試？みたいな状態で受けました。試験中も時間に余裕がありリラックスして受けることができました。



終了後分からない問題は不安で答えを調べました。  
 その夜にインターネットで解き方丸つけをし、点数を出しました。出る前におおよその点数がわかり合格発表まで不安な気持ちなど合格発表当日に自分の目で合格したんだなー、と実感しました。

(小松由佳・福田デンタルクリニック)

本学会には『オピニオンメンバー』という肩書を持った会員が全国に62名います。

何をやる人たちがというと、年に2回オピニオンメンバー会議というものが開かれ、学会内での活動報告や企画提案、議案について意見し、考えることで、学会の活動をよりよくしていくための大切な会議をしています。

さて、このメンバーに歯科衛生士は何名いると思いますか？

今現在11名の歯科衛生士が、オピニオンメンバーとして活動しています。

これまで東京でしか行っていなかった会議も前は神戸にて開催され、今まで関西から東京へ来てもらっていた大変さと楽しさを感じつつ、今回は東京から関西へ足を運び、とても意義ある時間を過ごしてきました。

# オピニオンメンバーって知ってる??

(山田美穂)

みなさんは【日本ヘルスケア歯科学会】に入会して何年経ちますか？

【日本ヘルスケア歯科学研究会】発足時からずっと会員の方から、学会になってから入会された方、また今年度4月からヘルスケアの歯科医院に入局したことから関わるようになった方、きっと様々ですよ。

長年、ヘルスケアに参加してきて「こういうの、もっとこうしたらいいの…」とか「こんな制度があったら魅力的だな…」なんて思ったことはありませんか？

新しい会員の方々は「こういうこと教えてほしいな」とか「昔こういうこ

とやってたらしいけど、なんで今やらないの？」などなど、気になることってないですかね？

本学会の特徴のひとつは『歯科衛生士の活躍の場が多い』ということです。

その分我々歯科衛生士の意見や考えって、とても重要なんですね。

ぜひ、遠慮なく発言してください。

「よし！オピニオンメンバーになるぞ！」というのはもちろん、現メンバーに「こんな提案どうだろう？」と投げかけていただくのも歓迎です。

今後、まだまだのびしろのある歯科衛生士という職業を私たちが活気づけていきましょう！！

## セミナー☆まにあ

3月、都内で行われた表題のセミナーに参加してきました。講師は千葉英史先生。

最初に、「写真は定点観察のために」と25年分のエックス線写真を見せてくださったのですが、1枚1枚重ねても、ブレないんです。歯槽骨だけが、ゆっくりと変化していく……。これぞまさに規格性！と思いました。私が撮影している口腔内写真は、ここまでこだわっていないことを反省し、冒頭から

### 歯根膜の臨床観察と歯周病

気持ちが引き締まりました。基本的なことを徹底してやることの大切さ、どの臨床でも浮き彫りになります。

歯槽頂部歯槽硬線消失や歯根膜腔拡大、歯根近遠心歯槽硬線肥厚、骨梁像の不透過性亢進と、歯周病の進行によるエックス線像の読影を順に教えていただきました。



(長山和枝・わたなべ歯科)

“骨梁像や動揺についての臨床的私見”も教えてくださったのですが、エンドペリオ病変への対応についての内容はとても興味深いものでした。

プロービングデプス、炎症が急性か慢性か、歯髄の状態や外傷性咬合の有無などのチェック項目に合わせて、根尖性歯周炎由来なのか、歯髄炎由来なのか、咬合性外傷性由来なのか、歯根破折由来なのか、歯周炎由来なのか、一つひとつ症例に合わせながらどう判断してどう対応するのか、お聞かせくださいました。

まずはプローブを持って付着の確認をする。

エックス線写真から得られる情報がさらに多くなった一日でした！



- 1年後 まず歯科衛生士として基礎的なことをしっかりとこなし、学校では分からない臨床面での知識をつけていきたいです。
- 3年後 知識とスキルを身につけ、患者さんに頼られるようになりたいです。そして常に向上心を持ち続ける歯科衛生士でありたいです。

新人歯科衛生士に国家試験感想をききました

# 育成プログラムに参加して



## 【5日目 1月12日】

新しい年が明けて早々の1月12日、関西基礎コースの第5回目に参加させていただきました。9月から始まったプログラムもラスト2回となりました。特に今回は「口腔内写真撮影検定」と「歯周病組織検査検定」が行われる、ドキドキの一日がスタートです。

午前中は「SRPの理論とメンテナンスプログラム」についての講義を受けました。私が勤務する医院では、ヘルスケア診療に取り組んでまだ日が浅いので、実際の臨床での取り組みを示していただき、非常に勉強になりました。

午後からは、いよいよ検定です。検定準備が始まると、想像以上の緊張感で胃が痛くなるほどでした。とにかく、「落ち着いて！」と自分にいい聞かせながら、臨みました。しかし、口腔内写真撮影では、突然のカメラの故障で、頭が真っ白になりながらの撮影となってしまいました。検定後には、緊張が解けた脱力感と「もっと練習しとけばよかったな」という後悔とで複雑な気持ちになりました。さて、明日は結果発表です。自己採点では合格は難しいですが、このプログラムを通して学んだ「ヘルスケア診療」を医院で取り組んでいくためにも最後までがんばりたいと思います。（太田垣由美・ふじい歯科）

## 【6日目 1月13日】

1月13日プログラムいよいよ最終日となりました。午前中はSRPの実習、午後は「長期症例からみるメンテナ

ンスの効果」また「SRPの評価法」についての講義がありました。

昨日の検定のことさえも忘れてしまう（忘れてしまいたい!!）程、充実した内容でした。

今まで自己流になっていたSRP。これでいいのか？ などと思いながら、診療・定期健診に携わっていた自分を見直すいい機会になりました。何の、どこを、どんなふう修正すればいいのか!? キュレットの正しい把持法、正しいポジショニング、レストの位置、等々目からうろこでした。ともすれば変形しそうになる私の“執筆状変法”気がつくとも自己流に戻っていることもありますが、常に意識したいと思います。

今回学んだことを医院に持ち帰り、教わった技術が、必要なときにすぐに役立つよう、いつもピカピカに磨いておきたいと思います。

さて、帰りのJRの中で受け取ったメール。

「結果は結果で残念でしたが、その努力は血となり肉となっていますから!! 明日からまたパワーアップして頑張ってください」と。

育休中の副院長からでした。ウルウル

確かに結果は残念なものになってしまいましたが、知識・技術以外にも得るものがたくさんあった今回のコースでした。22人の仲間、インストラクターの歯科衛生士の皆さん、先生方、出会ったすべての人に感謝・感謝・感謝です。

歯科衛生士として活躍する場はそれぞれ違いますが、すべては、『患者さんの健康を守り育てるため』目指すはそこですよ。河野先生!!

今回の基礎コースに参加できて、本当に良かったです。この6日間は私の宝物となりました。ありがとうございました。

（澤 美千代・福嶋歯科医院）



編集後記

【The HyG Times】第27号です。新年度がスタートし、桜の花を楽しむ時間もあっという間。お花見できましたか？ 皆さんの周りでも環境が変わった方がたくさんいらっしゃるかと思います。私は学校に勤務し始めてから『年度』というものを意識するようになりました。診療室に新卒の歯科衛生士や勤務医が入局したり、プライベートでお子さんが入園、入学をした方も少なくないのではないでしょうか。私の勤務先にも歯科衛生士のタマゴちゃんたちが、なんと87人も新1年生としてスタート！夢と希望の詰まった学校生活をサポートしていきたいと思います。診療室でも新人教育頑張りましょう!! ベテラン腕のみせどころです!!

（「ハイジなわた歯」隊長；山田美穂）情報提供・質問・問い合わせ『The HyG Times 編集部』：Hygtimes@gmail.com